

日本アンダーライティング協会

第10回年次大会開催

事例研究部会が初の研究成果報告

日本アンダーライティング協会は5月19日、第10回年次大会をオンラインで開催した。コロナ禍を受けて初のオンライン開催となった今回は、2019年度上級試験合格者座談会、RGAリインシユアランスカンパニー日本支店の長岡司チーフメデイカルオフィサーによる講演、事例研究部会の発表の3部構成で行われた。開会あいさつを行った八束滋代表理事は、同協会の20年度の取り組みとして「テキスト部会」「インシユアテック部会」「事例研究部会」の3つの部会の立ち上げを報告し「まだ走り出したばかりだが、できるだけ多くの会社から参加していただけるよう働き掛けていきたい」と意欲的に語った。

胃がんと卵巣腫瘍テーマに

初めに行われた2019年度上級試験合格者座談会では、合格者の中から成績優秀者として選出されたマニユライフ生命の宇多桃香氏、チュウリツ生命の濱野菜穂都氏、トリア再保険の吉村和尊氏の3氏が登壇し、同協会理事で試験委員を務める大同生命の田中雅代氏の進行の下、受験の動機や受験勉強の方法、受験勉強が実務にどのようにつながっているかといったテーマについて自身の経験を語った。

3人は成績優秀者という点もあり、受験勉強では「テキストを3回書き写した」「テキストの知識を補うために解剖図等も参考にした」といった回答があった他、受験勉強の効果については「受験勉強の中で多くの疾患について学んだことで、希少疾患への苦手意識が薄らいだ」といった声も挙がった。

次に、「新型コロナウイルス肺炎に伴う後遺症



八束氏



長岡氏

で、人の1万分の1程度の遺伝子しか持っていないため、必要最低限の機能に特化し、高度な機能を持ったホストに効率的に寄生して利用するかといった方向性で進化を続けていると説明。

また、感染様式としては、飛沫感染と接触感染が主体であることからロックスダウン等の人流抑制策はこれまでのパンデミックでも行われており、そういった経験から、専門家の間ではウイルス感染は「ハンマー&ダンス」と呼ばれるように感染の波を繰り返しながら数年は続くと考えられているとした。

COVID-19の臨床症状については、ウイルスに暴露した人のうち、おそらく40%程度が無症状だと予想され、その他の人は、ウイルス暴露から平均5日で発熱や全身

倦怠感といった症状を自覚するようになる。その後1週間程度でそのうち10%の人が息切れや呼吸困難といった肺炎の症状を自覚し、酸素投与が必要となる中等症へと進んでいく。さらにそのうち20%の人が自力での呼吸

が困難になり、人工呼吸器やエクモ(ECMO)を用いた治療が必要になるという段階を踏んでいく。

同氏は、スパイクタンパク関連の変異株で重要なポイントとして、①症状発症から1週間程度と

されていた感染力を有する期間が、2週間程度続くと言われており、PCR検査が2回連続で陰性になるまでは隔離が必要となるため入院期間が長期化する可能性がある②症状発症から重症化までの期間が1〜2日短縮すると考えられており、重症者用ベッドが感染増加に伴って逼迫する可能性がある③無症状や軽症の人であっても数カ月間わたって後遺症に悩む例が出ており、30代・40代でも重症化するケースが増えているといった点を挙げた。

この他、無症状や軽症の人と中等症以上の人の鑑別ポイントや、変異株による若年層の重症化リスク、免疫システムの構築等について解説し、「皆さんの医学知識や査

定知識を社内でも共有していくことが保険業界にとっても有益になる」とメッセージを送った。

最後に、20年度に発足した事例研究部会が「胃がん・卵巣腫瘍の査定」医療証明書を取得できない場合の引受査定についてというテーマで発表を行った。発表は、チユーリツ生命の石井麻由子氏、プルデンシャル生命の石川裕子氏、マニユライフ生命の白鳥達也氏、大同生命の庄野隼人氏、メットライフ生命の田地主由紀氏、第一生命の安田真季子氏が行い、司会を東京海上日動あんしん生命の石井隆氏が務めた。

査定実務では医療証明書を取得できない場合が発生することから、その発生するところから、その場合、告知で得られる情



上級試験合格者座談会



事例研究部会の発表

報を基にどのように考えていくのか、ケースごとのポイントを考察した。胃がんの既往症がある顧客については、手術方法(内視鏡・腹腔鏡・開腹)や、入院日数や退院後の通院状況などからステージを推測し、引受け可否を検討することは可能との考えを示した。この他、胃がんについてアンダーライターが知っておくべきポイントについても解説した。

また、良悪性が混在する卵巣腫瘍で医療証明書を取得できない場合の査定では、卵巣がんの治療や境界悪性腫瘍の定義とその予後、良性卵巣腫瘍の治療など、卵巣腫瘍を多面的に検討し、それぞれについて査定時に考えるべきポイントを考察した。